



**メディア多数出演!**

「MyFoot station 泉大津店」がFMラジオと人気民放番組で紹介されました!

去る6月5日(金)のプレオープンに続き、7月3日(金)、グランドオープンを迎えた「MyFoot Station 泉大津店」(以下、MFS泉大津店)は、お陰様で様々な形で皆様からのご支援を頂いております。

6月9日(火)には、泉



大津市のコミュニティFM放送局「FMいずみおおつ」にて毎週火曜日18時放送の対談番組「BOSSがゆく」に、弊社代表荒山元秀と西アフリカはトーゴ出身の弊社研究員アハゴの2名が「アハゴ&モト」としてコンビを結成、急遽ゲスト出演させて頂き、弊社のこれまでの取り組みや社会的意義についての代表荒山の熱い思い、また、アハゴによる義足で故郷アフリカに希望を届けるプロジェクト「Jambo(ジャンボ)プロジェクト」の内容などを紹介致しました。

また、今月25日(土)には、関西テレビ放送「モモコのOH!ソレ!み〜よー」の人気コーナー「兵頭ぶらり」にて、「泉州地方のオススメドライブスポット」特集の中でご紹介頂きました。

奇しくもコロナ禍の懸念が未だ拭い切れない中、MFS泉大津店では、弊社開発の最新型セルフ操作による3次元足型自動計測機を導入しており、実際に兵頭氏の足を3D計測し、その結果、驚愕の事実が判明すること!

「健康寿命日 本一の町」を目指す泉大津市で、足から始まる健康、その一歩を始めませんか! 計測は無料です。是非お立ち寄り下さい。

夢を育てる

# DGP

News Letter

令和2年7月【第28号】

DreamGP  
Dream Growing Platform  
株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】  
〒556-0004  
大阪市浪速区日本橋西 1-3-19  
南海日本橋ビル 1F  
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879

足と靴のフィッティング専門店

## MyFoot station 泉大津

営業時間：11～18時(木曜定休)  
お問合せ TEL：072-592-9227

MFS泉大津

・足の健康アドバイス

・お薦め靴下等の販売

・フィッティングスペース

・非接触非対面による足のセルフ3D自動計測

・オーダーインソールの製作と販売

MFS 泉大津店導入機

## 非接触非対面型

# REAL FOOT のご紹介

「MY FOOT Stat  
ion」泉大津店（以下、M  
F S 泉大津店）では、弊  
社開発の最新3D足型自動  
計測機「Real FOOT」  
を導入しています。

同機は、片足（足首から  
下）を約15秒で三次元立体  
計測し、足の形状をそのま  
ま再現します（測定標準偏  
差±0.5ミリ）。

計測者本人によるタッチ  
パネル操作方式を採用した  
ことで、非接触非対面での計測が可能と  
なり、昨今懸念されている様々な感染症  
等の予防対策としても有効です。

結果はすぐさま接続モニター上に表示  
され、様々な角度からの分析結果やその  
他表記方法による表示も可能です。

また、同モニター上に表示されたQR  
コードをスマートフォンなど計測者本人  
が携帯端末で読み取ることで、その場で



① REAL FOOT で計測



②計測結果を表示



③QRコード読取



④フルオーダー  
インソールを製作

携帯端末から計測者の足の計測情報を確  
認することが出来る上、計測データをク  
ラウド上にアップロードすることで「M  
Y FOOT PAGE」に記録されます。  
このデータを基にした世界でたったひ  
つこの自分だけのフルオーダーインソ  
ールをご注文頂くことも可能です。  
契約内容等、詳細に関するお問い合わせ  
せは、06-4708-4877（弊  
社代表電話番号）まで。

【不定期掲載】その1

## 『中小企業の3D進化論』

著者：荒山元秀、島村雅徳、森永浩介  
出版社：ライティング  
発売日：2017年12月1日

はじめに

「形式知」という言葉があります。誰にでも客観的に認識できる知識のことであり、文章や図表などで説明や表現が可能なものを指します。現在、生産業において機械化すなわちデジタル化が進んでいるのは、この形式知の部分です。

対照的な言葉として「暗黙知」があります。

これは個人的な経験から発生する知識であり、自転車の乗り方のように、自分自身は修得していても他人に説明して理解してもらうことが難しいものを指します。

患者さんの体の柔らかさや、動きにくさ、痛みの感じ方などは、明確な数字や言葉に置き換えられない暗黙知です。義肢装具士は専門家としての形式知はもちろん、暗黙知の部分を経験や感覚から理解しています。だからこそ、患者さんにぴったり合う義肢や装具が作れるのです。

(※次回に続く)



奇しくもコロナ禍がデジタルシフトを加速させ、国連が提唱するSDGs等、益々持続可能な社会が望まれる中、デジタルシフトへの流れを先見した本ではなかったかと自負しております。このような時代の流れの中で、3年前に上梓した共著もすでに3刷を数え、読者の皆様には改めて感謝申し上げます。

代表 荒山元秀

〔共著の出版から3年を経て〕  
弊社が足と健康に係る事業に携わって15年になります。創業当時のシューフィッターが活躍していた時代、リーマン・ショックにより義肢装具業界等医療分野へ軸足をシフトした経営判断、新潟医療福祉大学大学院修士課程にて、阿部教授のもと、靴医学から解剖学、引いてはインソールの設計、そして一番の研究テーマであった足の3D計測の仕組み作りを学んだこと、ご縁あって介護シューズメーカーとの協業により、世界初の3D足型計測機とシューズマッチングシステムを開発し、全国100ヶ所以上の介護施設を巡ったこと、1300名もの働く女性の足型計測を行い、既成の木型にフィットする人は実は2割にも満たないことを知り、大量生産・大量消費という効率化の成せる業を痛感したことなど、様々な記憶がよみがえって参ります。